

# 新型コロナウイルス感染症が 鍼灸師・鍼灸院に与える影響

企画・制作：公益社団法人 東京都鍼灸師会 広報部

新型コロナウイルス感染症の流行が進む中、4月7日、政府の緊急事態宣言に続き、13日に東京都からも休業要請を含む緊急事態が宣言されました。

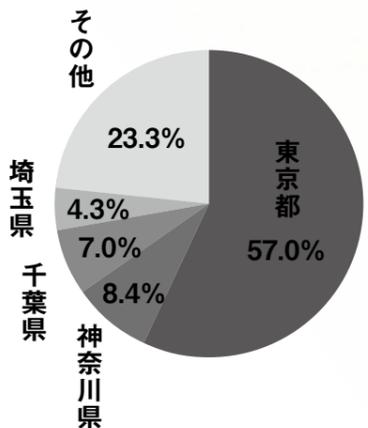
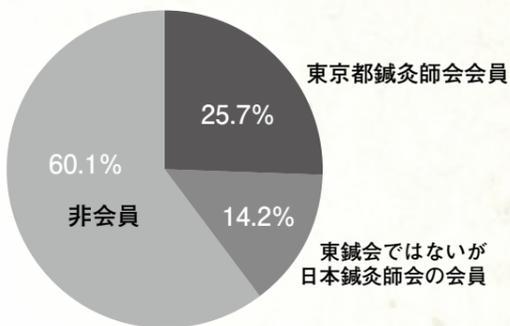
鍼灸院は休業要請の分類には含まれないと発表がありましたが、自粛要請が続く中、営業を続けていく上でその影響は少なくないと思われます。

そこで、東鍼会ホームページを中心に、鍼灸業界の現状を把握するため、緊急アンケートを実施しました。

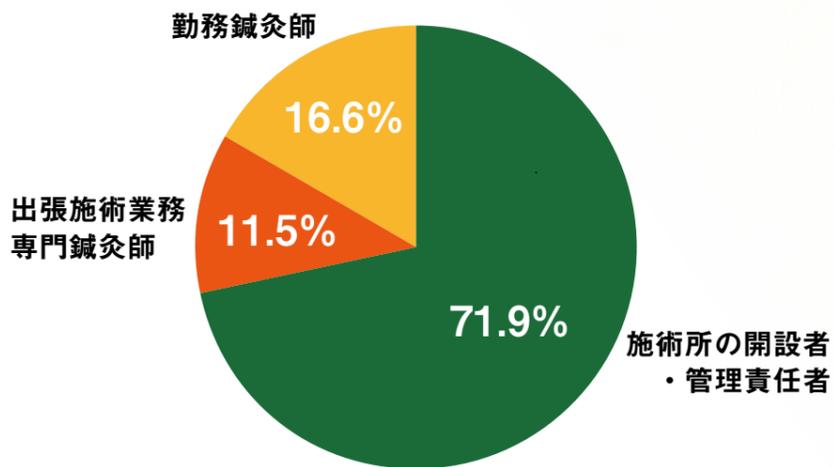
あくまでも現状把握だけですが、集計結果を共有します。ご協力いただいた結果を踏まえ、業界団体としてできることを模索していきます。

実施期間：2020年4月21日～28日  
実施方法：グループフォームによるアンケート  
回答数：416

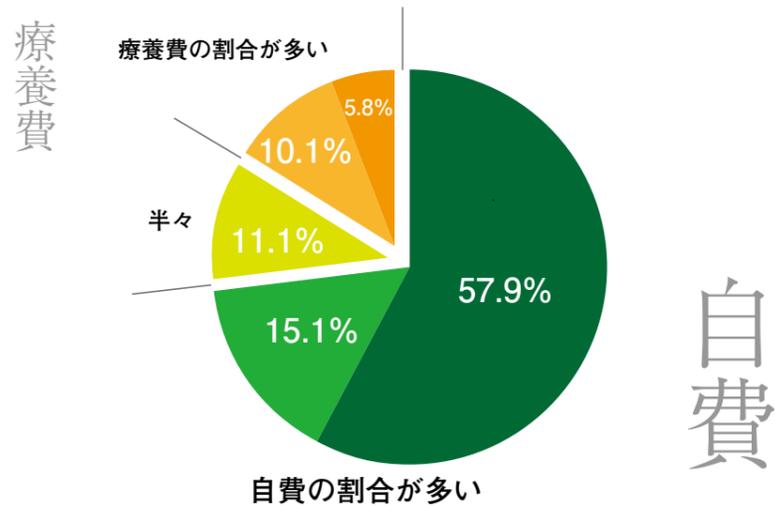
回答者の属性



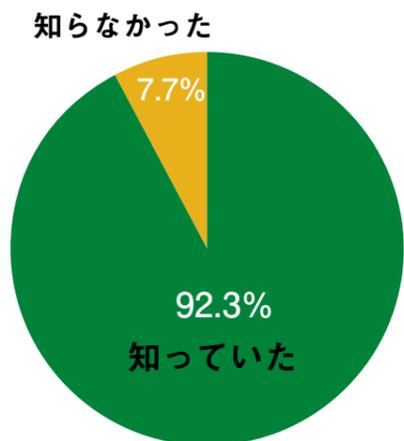
## あなたの立場は？



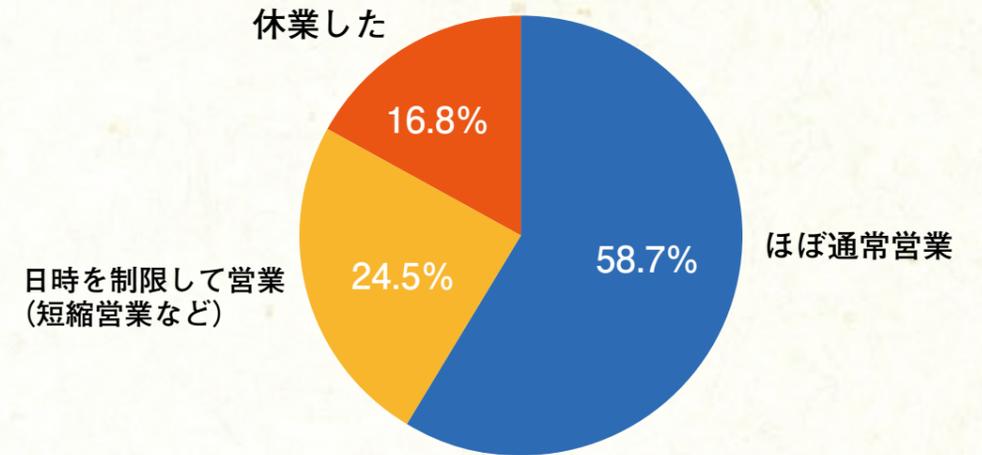
## 自費と療養費の割合



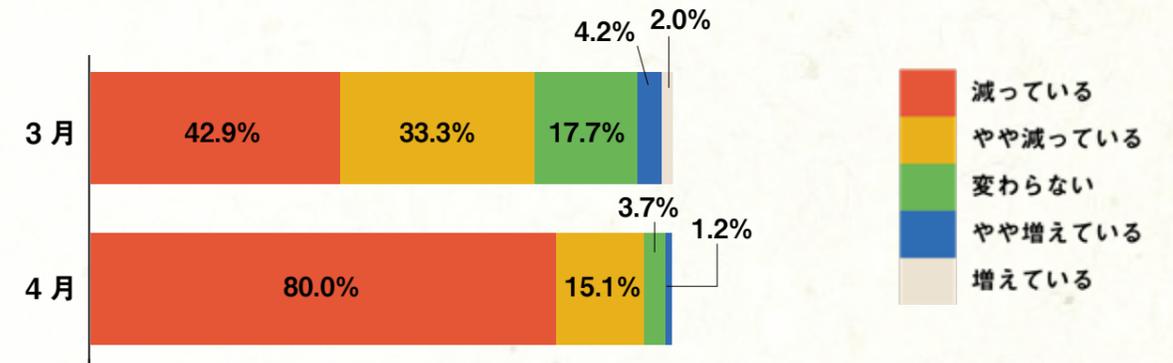
4月13日の東京都の緊急事態措置において、鍼灸院が「社会生活を維持するうえで必要な施設」の「医療施設」のひとつに記載されたことは知っていましたか？



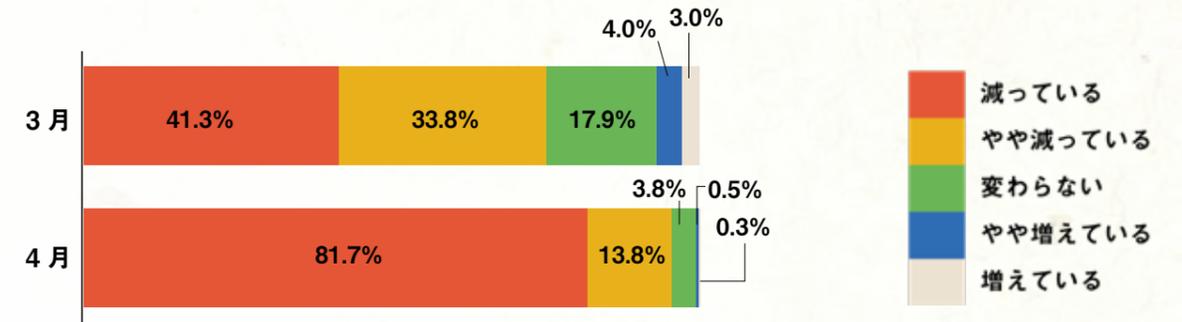
現在の営業状況



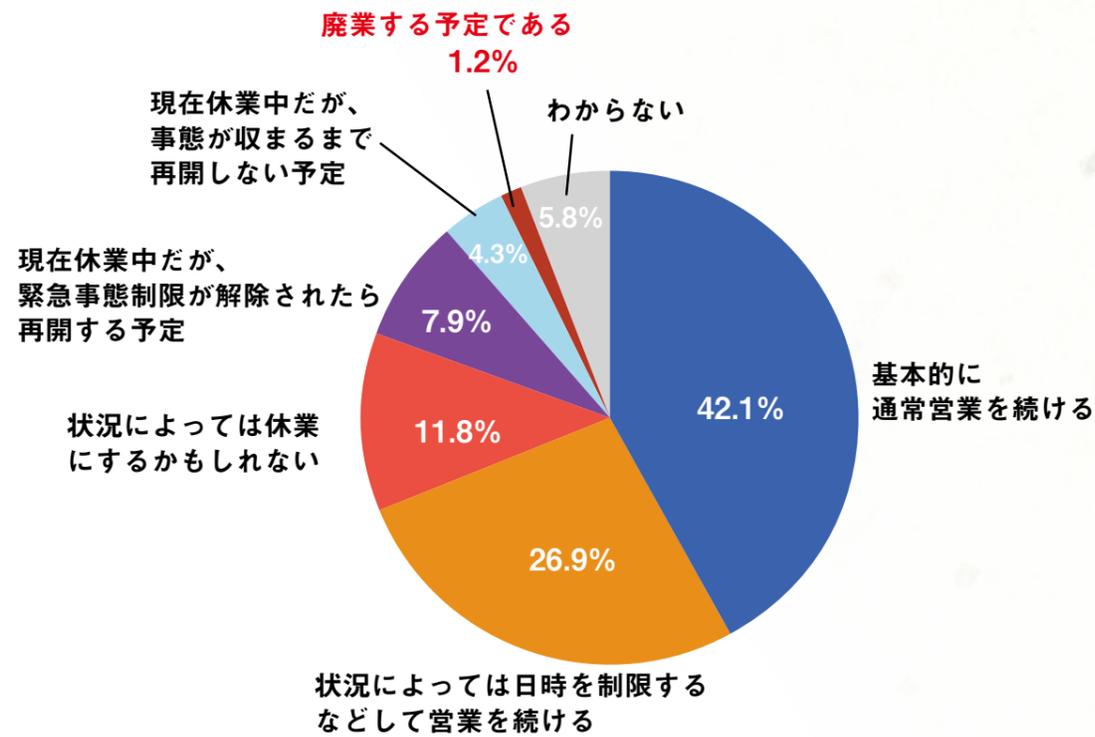
3月、4月の患者数に影響はありますか？ (昨年度対比)



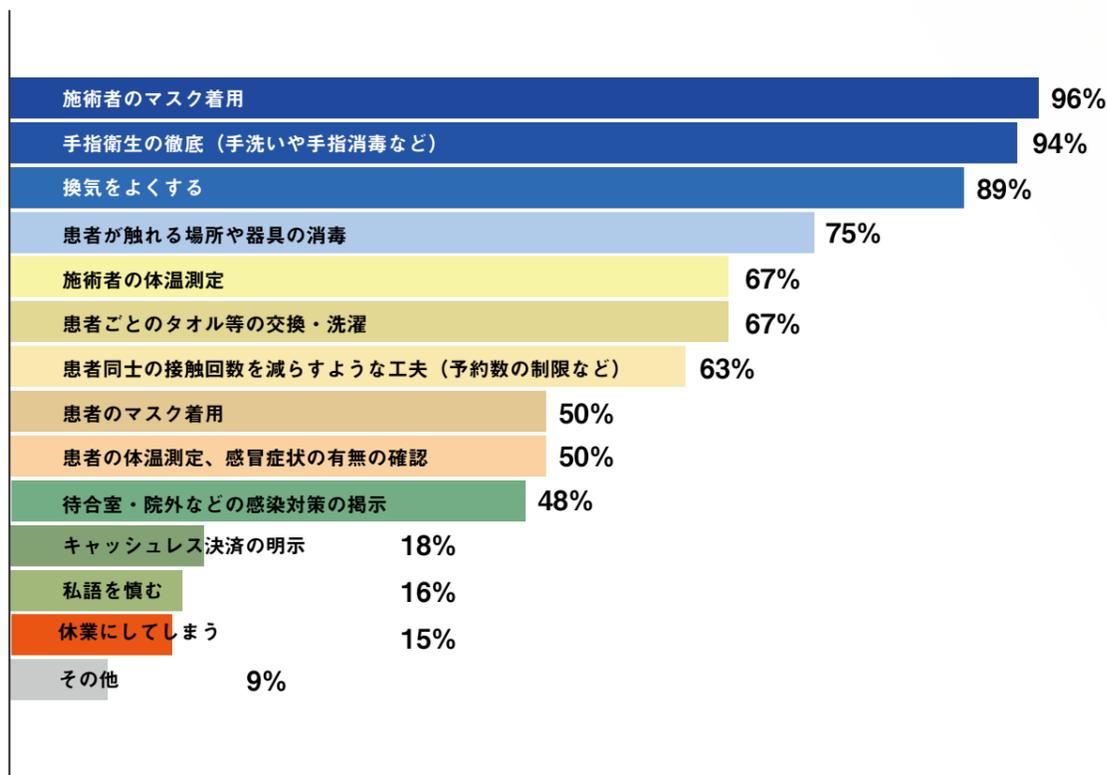
3月、4月の売上に影響はありますか？ (昨年度対比)



これからの営業



感染対策



(そのほかのご意見は次ページに掲載)

その他

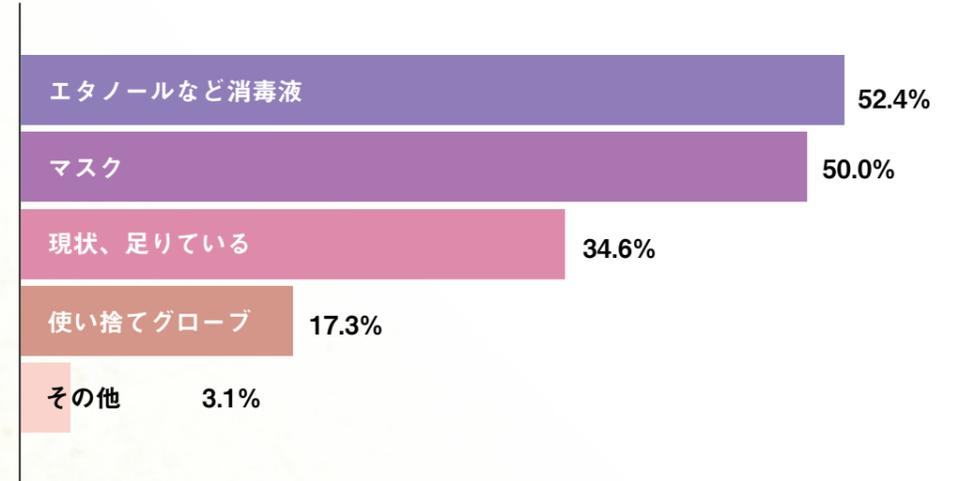
- ・HP のトップにコロナ対応策を明示している。
- ・HP やグーグルマイビジネス、LINE 公式アカウントでのコロナ対策の明示
- ・SpO<sub>2</sub> や呼吸音の確認。ご家族の体調の確認
- ・スタッフが経済的心配なく休めるよう休業手当を出している。スタッフ用に感染が疑われた時の漢方薬の準備
- ・ベッドタオルの交換は難しいので患者の顔付近のタオルを交換できるようにしている。
- ・もともと一度に一人しか診れない態勢をとっています
- ・移動時の手袋上着の毎日洗濯仕事以外での外出自粛など
- ・医療用グローブ着用、数か所に患者が使用できるアルコール消毒液を置いている
- ・外食しない、家族と患者以外と接しない、外からの物は全て消毒
- ・患者が触れる場所や器具の消毒（チェックボタンがチェックできなかったので、こちらに書きました）
- ・患者ごとにペーパーシート交換
- ・院内空気清浄に除菌消臭器設置
- ・患者さんへのお茶をガラスコップから紙コップに切り替えた
- ・患者にも来院時に手洗いうがい手指消毒してもらう
- ・患者のタオル持参（以前より）
- ・患者への手指消毒のお願い
- ・感染予防の声かけ
- ・玄関に消毒用スプレーが置いてある、スプレーミニボトル等を購入して患者に消毒用アルコールを配布している（販売はしていません）。
- ・コップは紙コップ、紙コップを入れる容器は毎回消毒しておく
- ・院内の手洗いは全てペーパータオル
- ・高齢者の来院タイミングを調整、往診対応希望を促している
- ・抗ウィルス効果のあるアロマ精油を焚く
- ・使い捨てシート
- ・指サック、手袋使用をはじめた
- ・施術者が使い捨てグローブ着用
- ・施術者が触れるものの消毒、パソコン、カルテ表紙など
- ・施術者の体力免疫力維持のためのトレーニング
- ・次亜鉛素酸水を超音波加湿器で加湿
- ・自転車移動できる範囲で出張
- ・出張時の移動手段に交通機関を使わない
- ・術後のお茶の休止
- ・承諾書を全患者に頂いています
- ・新患の制限
- ・待合室での閲覧用書籍の移動
- ・低濃度オゾン発生機
- ・店で食べない・小さい商店で買い物等
- ・日時短縮でなく、急を要する患者のみ診ることにしている
- ・入口で靴を脱いでもらうようにした
- ・本人および身近な人の2週間以内の海外渡航歴の確認、用紙への署名
- ・免疫力アップ施術

不安なこと



その他

- ・患者さんに感染させる可能性
- ・大不況による患者さんの利用頻度減少
- ・出入りしている老人ホームでのクラスター発生
- ・自分が無症状感染者であり、患者様にうつしてしまう恐怖
- ・別に何も不安ではない
- ・自分が感染源になる可能性
- ・公衆の何でもないところが感染源になること
- ・抗体があるのかわからないのか知りたい、わかればもっと具体的に動けるようになる
- ・消毒など消耗品の枯渇 ・衛生用品が入ってこなくなる
- ・鍼灸師が感染症のプロの如く対応策やコロナに対しての治療などを提案したり広めたりする無知な行動の怖さ
- ・情報過剰で患者さんが来院を怖がってしまう
- ・給与、家賃等経費の確保
- ・自粛の長期化
- ・鍼灸院がソーシャルディスタンスを保てず狭いから「密室」で営業を続けていることに不安感を抱かれること
- ・感染者を出した場合の補償問題、訴訟などの有無
- ・鍼灸院への通院が感染リスクになると思っている患者さん（予約のキャンセルをした方など）が、緊急事態宣言解除後に通常通り通院してくれるのか不安
- ・治療を自粛している（あるいはこちらからお断りしている）患者さんの症状の悪化
- ・感染に対する専門知識がないこと
- ・自分に症状がないことで気がつかず患者に感染させてしまうこと
- ・公共機関を利用しながらの患者さんの来院。covid-19 を把握していない患者さんへ指導が必要であること。来院する高齢者には、不顕性感染の存在すら知らない方がいる
- ・自身からの感染で患者さんが亡くなる
- ・消毒液やマスクなど、現状は足りていますが、今後、足りなくなったときに購入できるか不安です（特に消毒液）



その他

- ・バンドソーブ ・綿花 ・フェイスシールド ・ペーパータオル
- ・超音波加湿器及び次亜塩素酸水
- ・手指消毒剤
- ・消毒用スプレーがなかなか買えない、ハンド・サニターやヒビスコールの容器が品切れ状態で買えない
- ・タイクロジーンが購入できず、ストックがなくなり次第アルコールアレルギーの患者さまに対応できなくなるため、困っています
- ・時間の問題で足りなくなる
- ・鍼灸器材（鍼、お灸など）がそのうち受注されなくなるのでは
- ・グローブが在庫残わずか
- ・消毒液を入れる容器、体温計

政府や自治体への要望

金銭的保障

休業補償、家賃の補助、従業員の休業補償、保険制度の見直し

物資提供

マスク、消毒薬などの支援

一般の方に鍼灸の可能性を伝える

- ・休業要請対象外にも関わらず、外出自粛等で鍼灸の必要性が伝わっていないため患者がこない
- ・医療従事者への鍼灸治療提供をしたい

休業要請

- ・休業要請範囲外だが、顧客の減少は免れられず経営が難しい
- ・休業要請に加えて、給付金・助成金などの補償

衛生面の指導・情報発信

正しい情報の取得

業界団体への要望

物資提供

マスクや消毒液の給付、衛生用品や消毒剤等の購入斡旋など

金銭的保障

休業補償、売上減少を補填するお金、鍼灸師会年会費の減額など

衛生面の指導・情報発信

世間一般に鍼灸院が衛生的に信用できる施設として認められるよう、各鍼灸院の衛生への徹底指導や感染症対策セミナー

鍼灸の効果宣伝、鍼灸院のアピール

- ・休業要請の対象業種では無いことをアピールするポスターの作成
- ・鍼灸業界がワンチームになり、鍼灸が免疫の働きを良くすることなどをデータや論文などを用いて、医学的に発表し、世間にアピールすること。
- ・鍼灸は医療であると言う事の啓発

都、国へ要望活動

情報提供、情報共有

## その他

- ・今までの方を大事にする
- ・乗り切れないので倒産を遅らせるのみ
- ・こまめな自治体からの情報の伝達（鍼灸は休業要請正式除外など）
- ・マスクを製作して困っている方にお分けしています
- ・家賃交渉 在宅ワークの方向けに郵便でアドバイス
- ・鍼灸師として医療人や運送業の人を助ける
- ・いつもより患者さんへの愛情を多めにして、ストレスから解放されるように気をつけています
- ・可能な限り正確な情報を回収して患者さんにも提供すること。不安を解消して安全な行動を促すと心身共に安定した分、感染の機会を減らし、持病の余計な悪化を防げる
- ・お金ではなく信頼を蓄積すること、周囲への貢献に集中しています
- ・固定費の削減、家賃交渉、物販に力を入れる
- ・デマや噂に左右されないようにしています
- ・今回に限らず普段から衛生への関心を高め、院内設備を見直したり、マスクや消毒液は備蓄しておく
- ・休業する事も我々の責任の一つであると理解し、施術者や患者の感染リスクを少しでも下げていくことが大事
- ・スタッフが安心して休めるように病欠時の手当の支給
- ・ほかにできる仕事を考えている
- ・stay at home！
- ・暇な時間を利用してホームページの更新、鍼灸に関する勉強。
- ・電車から車通勤へ変更
- ・無理に集患しない。患者さんとの信頼関係をより強化する
- ・現時点でできることは、感染拡大のリスクを減らすことだけだと考えておりますので、鍼灸治療がラストだと思われる患者のみ了承を得て往診治療しています
- ・出費削減、東鍼会を退会しました
- ・行動範囲が徹底的に制限されるため、半径 500 メートルの徒歩圏内の地元患者さんを特に大切にす。ニュースペーパーで当院の取り組み、覚悟を伝える。
- ・ゆるりとこの状況を受け止めストレスフリーの生活を目指す
- ・もともと完全予約制。紹介制でさらに、接触者の追跡可能な患者のみをとる、など
- ・政策金融公庫を利用して休める体力をつける
- ・高齢者の社会的孤立の加速が懸念されるので往診の必要性の周知
- ・自身と患者のヘルス&感染症リテラシー向上
- ・休業、廃業しかない
- ・鍼灸院がクラスターにならないこと、また差別が起こらぬよう患者教育をできるだけお行うよう心掛けている
- ・院内に支部会員作成の「新型コロナウイルス感染防止対策」のポスター掲示
- ・自作マスク、自作フェイスシールド、ビニール雨ガッパ着用
- ・情報収集、平常心、自己啓発トレーニング

## 感染対策、感染予防

- ・感染しないさせないを最優先しています。
- ・自分がコロナに感染しないように十分な睡眠、適度な運動、セルフではり治療などで体調維持
- ・元々ベッド一台の鍼灸院なのですが、予約と予約の間を一時間空けて、その間すべての窓とドアを開けて換気、消毒する
- ・タオル、シーツを患者ごとに交換。マスク着用、手洗いの徹底。手湯のサービス

## 患者さんへの情報提供

- ・可能な限り正確な情報を回収して患者さんにも提供すること。
- ・不安を解消して安全な行動を促すと心身共に安定した分、感染の機会を減らし、持病の余計な悪化を防げる

## オンラインでの取り組み

- ・患者さん向けオンラインセミナーの開催
- ・オンライン相談室を開室

## SNS での情報発信

- ・ホームページや SNS 上で積極的な情報発信、および施術者の体温情報公開
- ・衛生管理と感染防止を徹底していることを SNS や HP で知らせて、不安感を払拭しています

## 自己の健康管理

- ・まずはとにかく自己の健康維持と周囲の安全確保・対面や接触する形でなくともできる健康指導方法のブラッシュアップ
- ・いまは第一に患者様の健康を最大限に考え、営業を自粛することだと思います

アンケートにご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

緊急事態宣言は解除されましたが、今後の動向に細心の注意を払いながら、

この難局を乗り切っていきましょう。